



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 25

2016.1.13 (No.2852)

夢(Gift)を明日へつなげよう

第2560地区ガバナー／山本 和 則
 会 長／五十嵐晋三
 会長エレクト／川瀬 康 裕 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／小出子恵出 (クラブ奉仕B)
 幹 事／浅野 金 治
 S A A／吉井直樹
 会 計／野崎喜一郎

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (～はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

■本日の出席会員数:54名中43名
 ■先々週出席率:92.31%

【ゲスト】

・三条商工会議所 会頭 斎藤 弘文 様



会長挨拶

五十嵐晋三 会長



皆さんこんにちは。挨拶を申し上げます。本日の卓話は、斎藤商工会議所会頭です。ご多用のところご無理をお願い致しました。快く了解をして頂きありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

全く雪がない珍しい冬であります。今日は大雪の話をお話します。38年の豪雪の事です。1月中旬から降り始め、1月末まで4m以上降りました。最初は雪下ろしに懸命でした。その後は雪掘りでした。道路が屋根より高い所がいっぱいでした。電柱の電線をまたいでの毎日です。「この下に家あり注意」という看板は所々にありました。荷物は全て人力でした。その頃トラック輸送が今の様でなく、鉄道輸送が主力でした。東三条駅は出荷荷物で溢れていました。この雪は三条祭りまであるかもねと、よく話をしていました。

除雪は進み始め、狭い小路もやる様になりました。今の様な空き家、空き地がなく、みんな協力し合ったものでした。雪のおかげで近所のコミュニケーションがとれたと思われました。三条祭りには全く雪もなくなりました。季節はすごいものです。

話は戻ります。鉄道不通になる前に私は東京出張しておりました。5日くらい東京の仕事を終え、名古屋へ行きました。名古屋の人は私を見て不思議な顔をしました。三条からは誰も来ない連絡も取れない、お前はどうかしたんだという事



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度国際ロータリーのテーマ



でした。説明するとやっと納得してもらいました。名古屋の仕事が終わり夜行で長野へ行き、長野から柏崎まで着きました。その先は不通でした。列車が着くと金物屋のセールスが関西方面から来ます。柏崎の駅で20人くらいになりました。夕方、越後線が出る様だという事で、駅前の旅館で広間を借りて休んでいました。とにかく近くまで行こうという事で、開通した新潟行に乗りました。分水から歩こうという事になりました。中には吉田まで行って弥彦線の開通を待つという人、新潟の親戚の所で少し様子を見るという人もいました。重いサンプルを後日送ってもらうことにして大事なものだけ持って行く事にしました。食堂で腹ごしらえをして懐中電灯を買って三条まで歩き始めました。十数人ですと道を知っている人もいました。しかし、雪の中でした。

出発前に腹ごしらえで私はラーメンを食べました。それは間違いの様でした。しっかりと丼物を食べる事が大切なんだとわかりました。夜の道を懐中電灯で歩き、八王寺の橋まで来ました。もう少しだと元気付けあって瑞雲橋まで来ました。三条の光が見えた時、みんなで「万歳」と叫びました。

家に帰ったら雪の階段を下りて入りました。夜中でした。今日は豪雪の話をしました。

幹事報告

浅野金治 幹事



- ◎三条RACより
 - 「1月第二例会のご案内」
 - 日 時 1月21日(木) 19:30~
 - 会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室
 - ※ローターアクトクラブの例会参加はメイクアップ扱いになります。ふるってご参加ください。
- ◎三条RACより
 - 「長久の家もちつき大会のご案内」
 - 日 時 1月28日(木) 19:00~
 - 会 場 長久の家
- ◎三条東RCより
 - 「第36回 8クラブ有志ゴルフ大会 打合せ会のご案内」
 - 日 時 2月18日(木) 18:30~
 - 会 場 加賀苑
- ◎田中ガバナーエレクト事務所より
 - 「2016-17年度 会長エレクト研修セミナー (PETS) のご案内」
 - 日 時 3月12日(土)
 - 受付 9:30~/セミナー 10:00~/懇親会 15:35~17:10
 - 会 場 長岡グランドホテル
- ◎三条北RCより
 - 「三条北ロータリークラブ創立30周年 『感謝の集い』のご案内」
 - 日 時 4月16日(土)
 - 受付 10:30~/記念式典 11:30~/祝賀会 13:20~15:30
 - 会 場 ジオ・ワールドVIP

国際ロータリー日本事務局 財団室より

熊倉昌平会員に
「マルチプル・ポール・ハリス・フェローピン」
が授与されました。



ニコニコBOX

五十嵐晋三会長

斎藤会頭、卓話ありがとうございます。よろしく
お願いします。

石橋育於さん

あけましておめでとう御座居ます。五十嵐会長、
浅野幹事、後半もよろしくお願い致します。

斎藤会頭、卓話ありがとうございます御座居ます。

荻根澤隆雄さん

斎藤会頭、本日は宜しくお願い致します。

私、委員長の不手際でゲストテーブル手配忘れ致
しました。どうかお許しを。

斎藤弘文さん

卓話キンチョウしております。

斎藤真澄さん

あけましておめでとうございます。

商工会議所会頭の斎藤さんの卓話を楽しみにして
います。

渡辺良一さん

年始早々に家族全員“ノロ”にやられてしまいました
た。ですので、皆さん明けましておめでとうござ
います。今年もよろしくお願い致します。

斎藤会頭、卓話よろしくお願い致します。

中條克俊さん

斎藤さん、本日は大変お疲れ様です。

衛藤泰男さん

今年もよろしくお願いします。

斎藤会頭、卓話ありがとうございます。

中村和彦さん

今年は天気に恵まれまだ1回も除雪がありません。

斎藤さん、卓話楽しみにしています。

加賀美匡さん

斎藤会頭、卓話ありがとうございます。

三条経済の益々の発展を祈念申し上げます。

宮本信秋さん

ちょっと遅かったですが、ようやく雪が降り、地域
経済が少しでも盛り上がることを期待しましょう。

斎藤会頭、卓話よろしく申し上げます。

若槻八十彦さん

やはり少し雪があった方が落ち着きます。

杉山幸英さん

白くなりました。寒いです。

本日の卓話楽しみにしております。

樺山 仁さん

なんとなく春めいた日です。

本日は斎藤会員、御苦勞様です。よろしく御指導
下さい。

菊池 渉さん

信金の駐車場にバックで1回で車を入れること
ができました！

小出子恵出さん

斎藤会頭の卓話を楽しみにしています。

運転中のケイタイの使用は止めましょう。

高橋 司さん、歸山 肇さん、伊藤寛一さん、
熊倉昌平さん、小越憲泰さん、五十嵐博宣さん、
柳取崇之さん、関川 博さん、渡辺勝利さん、
松永一義さん、木村文夫さん、丸山行彦さん、
野地貞儀さん、成田秀雄さん、米山智哉さん、
中村信一さん、五十嵐昭一さん、明田川賢一さん、
佐野勝榮さん、川瀬康裕さん、浅野金治さん、
山田富義さん

三条商工会議所会頭 斎藤弘文様、本日は卓話あり
ありがとうございます。お話楽しみにしております。

1月13日分 ￥ 40,000

今年度累計 ￥ 755,000

「卓話」

三条商工会議所

会頭 斎藤 弘文 様



只今ご紹介頂きました、三条商工会議所会頭の斎藤です。

ロータリーは頼まれたことは決して断ってはいけないと先輩から教わってきましたし、私自身も大勢の人にそのようなことを

申し上げてきましたものですから断るわけにいかず卓話となった訳です。三条商工会議所会頭となったのが平成22年の11月1日からでございます。そして、年明けての第一例会で会頭としての挨拶をなさいと言われて迎えてくれたのが当時プログラム委員長の荻根澤さんでした。これも何かのご縁を感じる次第です。二期目の任期が10月31日で終わります。会頭として最初と最後の卓話を同じ人から依頼されるということはこれも一つの運命かなと思いに立っている次第であります。

市長さんが年頭の挨拶をし、第二例会で私が卓話をするわけですが、おそらく市長さんが新春の第一例会に卓話をするのは、県内のロータリークラブではないのでしょうか。ましてその後会頭が挨拶するなんて、全国的にも世界でもないのではないかと思います。そんな思いで、この機会を与えてくれた荻根澤さんには感謝をする次第です。とは申せ、あっという間の5年間でした。会頭職を全うできたのは皆様のおかげで、心からお礼を申し上げます。

9月15日リーマンショックの翌年、会頭の依頼がありました。固く辞退したわけですが本日に至ります。そして受けた以上は一生懸命やろうという思いで、いろいろなところへ伺いを立てました。会頭に何が必要かはロータリーが教えてくれる。職員にもヒアリングして生まれたものが、笑顔と感謝に溢れ市民と感動を共有する商工会議所。このようなことが職員の総意でありました。そして、できるだけ職員が明るくなると行きやすくなると議員さんに言われ、それをスローガンに5年間行ってきました。そして、そのキャッチフレーズをご披露した訳です。1月の新春の集いに参加された人はおそらく覚えておられると思います。はたして5年間でどれだけ到達したかはわかりませんが、これはみなさんから評価して頂けたらありがたい訳です。1月の商工会議所の会合で必ず年頭所感ということでメッセージを送る訳です。その時に三つのことを約束しました。一つ目は笑顔の溢れる商工会議所を作る。二つ

目はやっぱりこれから経営をするにあたり一番大事な情報は情報であり、自分で取って自分で肌で感じて、できるだけ情報を集めて、発信します。これからは商工会議所が皆様の羅針盤になりますという大そうなことを約束しました。

三つ目は商工会議所が主役の時代は終わりました。三条には経済団体だけで160団体があり、その人たちが1割利益を出したらこの町は活性化します。必ず情報を出し羅針盤になる。そして職員が笑顔で感謝の気持ちを持つ、成功するにあたり何が大切かということ、気付きの心じゃないかと、そのことを訴えてきたのです。やっぱり鈍感な人では、相手が何を言いたいのかわかりません。気付きの気持ちがないと別の方向に行く。そんなことで気付きがいかに大事かということをお願いして今日までやってきた訳です。そのキャッチフレーズを毎年掲げてきた訳です。最初の年には気付きを申し上げました。翌年は、こういう時代にはいかに生き抜くか。強い気持ちが大切だとキーワードにしました。そして三年目は、前に出ようと行動というものをキーワードにしました。そして、二期目に入った時にはもう三期もやって日本も落ち着いてきたから自信を持って物事行う。不安を持って物事を行うと必ず結果は失敗することになります。自信を持ってやったことにはあまり失敗というものはないと思います。ぜひ失敗を恐れず行動して欲しいとそんなお話しをしたと思います。そして昨年は、ご案内の通り挑戦。いろんなことが起きています。経済の流れをきちっと自分でつかむ。そのためには絶えず挑戦する。そのことを申し上げた訳です。明後日、新春の集いです。そしてまた今年のキーワードを発表致します。また、また元旦号で地元新聞にすでに報道されております。今年も共同です。自分だけの力では経済は再生できない。これからは共同です。共に統率して全く同じ目的で、今年もキーワード共同で一年間過ごすつもりです。

今年の安倍総理大臣の年頭所感。今年も挑戦、挑戦、そして挑戦、未来に向かっての挑戦。そんなことを言いました。私は一年も前から言ってきました。総理大臣が何を今更と思うのですが。商工会議所も色々な課題ができてきます。昨年TPPが二年後来年の10月に批准して実行に移る段階に入ります。それをどう受け止められるか、どう対応するか。それが今後の日本の経済を受け止め方で変わるのではないかと思います。日本は残念ながらTPPというところとすぐ米と思うのですが、一昨年かつてないデモが行われました。新潟の人が先頭に立って先導して国会

の前でTPP反対とデモを行っていました。私はそれを見て、情けないなという気持ちで一杯になりました。米の問題、様々ありますが今年の12月31日の三條新聞でその思いを語りました。米は今どうゆう状況にあるのか、もう一度真剣に考えて欲しいと思います。日本のコメはジャポニカ、日本独特の品種で、東南アジアではインディカ米というもので、そして米を主食にしている人口は41億人いるといわれています。米には790パーセントの関税が、かかっています。TPPで関税を撤廃されると本当に日本米がなくなると思っているのでしょうか？私は無くならないと思います。逆に流通しやすくなると思います。それがなかなか理解していただけない。日本のコメぐらい手間暇かけて作っているのはどこにもありません。日本の国内でもわかると思います。同じ日本の米でも魚沼産の米と他の県と値段の差はどこから来るのか？これを考えてもらえばわかると思います。平成15年に大変な冷害がありました。緊急輸入で20万トン輸入されましたが実際は一つも使われず飼料となりました。日本人はインディカ米は食べられません。カレーライスやチャーハンだったら食べられますけど。それを、現実的に見ている訳です。反対してもし批准できなかつたら何が起きるかということ、コメ代金が3倍になります。もし、3倍になっても生活できる農家はそうおりません。ほとんど兼業農家です。工場で働いたり、建設現場で働いたりして生活をしています。100兆円近い輸出をしている日本の現場が批准しなかつたら困る訳です。私たちも困りますが農家も一緒に困るわけです。今、米に関わらず日本食がブームになっています。実は、去年の商工会議所で著名な方が講演を行っております。日産の社長のカルロスゴーンさんに講演していただきました。私も本当に数かぎりない人たちの話を聞きましたがゴーンさんの話を聞いた時すごいと思いました。それまでは、あまり好きではなかったのですが、話を聞いて感服してやはりすごい人だと思った訳です。ゴーンさんの講演は全国から会頭が集まった会頭からの質問形式で行いました。一人5分くらいで、丁寧に回答して頂く。その中で、自分の所は農業県で、漁業の町で農産物や海産物をこれから輸出しなくてはいけない、これからどうなるのかという質問とゴーンさんは、色々世界をまわっておられるけどフランス料理と日本食はどうなんだ？という質問にゴーンさんは、こう答えました。どこに行ってもアメリカ料理ドイツ料理フランス料理などない日本だけです。でも、世界中に今日本料理が出回っています。大変な将来性がある

から頑張ってくれというのが答えでした。

そして、今年の9月に木村専務と一緒にインドネシアのジャカルタとベトナムのブンタウ行ってきました。ODA事業の今年が最終年になります。その時たまたま、貴島という審議官にお礼と表敬訪問を兼ねて、行ってきましたジャカルタ新聞を見せて頂いた。日本にいるのと同じような情報で大相撲などの報道がありました。その中に今年中に日本食の食堂が、おそらく10万店超えるのではないかと記事が出ておりました。今年の調査結果8万6千5百がその時の状況だったわけです。アジアが4万5千5百、2015年から比べると1.7倍に増えています。アメリカが2万5千店に、2年間で1.5倍。ヨーロッパが1万5千店、これが1.9倍に増えています。お分かりの通り、そんなことで今まさにその事実を見た問いに何を感じるのか。この10月に、ロシアの内覧会で見本市を行いました。夜の交流会で大使館にお願いして日本酒や寿司を出して頂きました。その時ロシアの人は真っ先に寿司に飛びつきあっといふ間になくなりました。それくらい日本食は世界から支持されています。毎年、ドイツの展示会で燕の吉田工業が大きな店を構えて全部寿司職人の形をして、来た人に刺身を切って寿司を握ってサービスして、これをずっと続けて大きくなったのです。そのブースは群がった。その事実がある訳です。驚くほどの輸出が増えている新潟の酒は、伸びている。それは輸出です。農協の人が早く目覚めて、40億を目指して米を作るという時代にきているということです。

時間になりましたので、最後に一つだけ昨年、若い職員にお願いしました。これからは自ら見て自ら行うことで会社はかわるのだ。色々な相談に行くにしても手ぶらじゃいけない。パンフレットつくって欲しいとお願いした訳です。それがみなさんの手元にある冊子です。この企画は三条商工会議所の若い人が作ってくれたものです。真剣に責任を持って、市内の事業者が喜ぶ仕事をする。その覚悟が現れております。ぜひ、みなさんもまわりの人にこの小冊子を進めてください。そして、どんなことでもどんなつまらないことでも相談に来てください。必ず役に立つレベルに三条商工会議所はあると思います。それをご披露して終わりにしたいと思います。

ご静聴ありがとうございました。



親睦委員長 小出子恵出 会員より

三条ロータリークラブ夜例会

「新年会」のご案内

新春を迎え、お健やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。
さて、今年一年の抱負を語り合い、メンバーの親睦をはかりますとともに、
皆様方の更なる飛躍を祈念いたしまして、新年会を企画いたしました。
ご多用のことと存じますが、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2016年 2月3日(水) 18:30～

会場 二洲楼 (Tel 32-0281)

会費 5,000円 (後日徴収させていただきます。)



次週例会 1月27日 「会員卓話」 渡辺勝利 会員

次々週例会 2月3日 夜例会「RI創立記念日～新年会～」
18:30～ 於二洲楼

